

子どもの「もしも」のときに備えよう!!

－乳児の心肺蘇生と窒息解除法講習会ver.2－



看護学科 田中 栄利子

事業の目的

未来を担う子どもの命を守ることは、私たち大人の務めです。しかし、わが国の子どもの死亡原因の上位は、交通事故や溺水、窒息などの不慮の事故で尊い命が失われています。事故が起きてしまった際、救急車が到着するまでの心肺蘇生等の応急手当が重要となりますが、パニックで慌てふためき、救急要請ができていない、心肺蘇生がなされていない現状があります。

そこで昨年に引き続き、ココねつとあおもり主催の「ココかれっじ」を利用する保護者の方を対象に、「子どもの命を守る」ための心肺蘇生法と乳児に多い誤飲に対する窒息解除法を身につけることを目的に今年度も救命講習会を開催しました。



開催日時・場所、講習内容

- 対象者:1歳未満のお子さんを育てる保護者
- 日時:2019年12月14日(土) 10:00~11:30
- 場所:青森県立保健大学
A棟3階 地域・老年看護実習室
- 参加人数:5名
- 講習内容:
乳児に対する心肺蘇生法、窒息介助の方法を知る (講義)

乳児に対する心肺蘇生法、窒息介助の方法を知る (実技)

講習のポイント:

内容は心肺蘇生法と窒息解除(異物除去)に絞り、乳児の人形(シミュレーター)を使いながら、実技の時間を増やし、実際に体験してもらうことに重点を置きました。

また無料の託児所を設け、保護者の方が講習に集中できるよう工夫しました。

インストラクター(学生サポーター)1名に対し受講生は1~2名の小人数制とし、講習中に出た疑問もその場その場で解決できるように工夫しました。

講習会当日は、学生サポーターとして看護学部の学生がボランティアの立場として運営に携わるだけでなく、事前に質の高い心肺蘇生技術提供するために十分に準備し、参加者の方々の指導に携わりました。



今後の要望と取り組み

「今後も乳児や1歳以降の講習会があると参加したい」「子どもを対象とした救命講習のシリーズ化」や「官民連携による救命講習のイベント開催」などの要望も寄せられ、子どもの救命処置に対するニーズの高さが伺えました。これを踏まえ、「子どもの命を守る」ための救命講習等をはじめとするプログラム内容を検討・実行していく。

アンケート結果

講習会終了後に、参加者の皆さんにアンケートを実施しました。

参加者の皆さんによる講習会の評価は10段階評価で9.5点台と高く、「講習内容も分かりやすかった」「とても勉強になることばかりで、あっという間でした」「たくさん実技ができ、とても良い経験になった」などの感想を頂き、満足度の高い企画内容であったといえます。



学生サポーターの対応についても好評価を頂き、「心肺蘇生の際、どうして上手くいかないのか、一緒に考えてくれて緊張が和らぎました」という感想を頂きました。



また参加者の皆さんの参加動機や救命講習の必要性の回答から、子どもに何かあったときの処置に不安をもっていることや、救命処置に限らず、突然のケガや病気に襲われたときの対応にも不安をもっていることが自由記述の回答からも伺われました。